

「詐欺かもしれない」 を、どんな時も。



高齢者を狙った詐欺。その手口はどんどん変わっていきます。

詐欺師の罠にハマらないようにするために、
どんな時も「詐欺にあうかもしれない」と、
疑う習慣をつけて被害を未然に防ぎましょう。



詐欺師はこのような手口で騙してきます。

自宅に かかってくる電話

詐欺かもしれない

詐欺師は、親族や役所の職員、銀行職員になりすまし、自宅に電話をかけてお金を騙し取ります。自宅にかかってきた電話は詐欺かもしれないと疑って、すぐに出ずに留守番電話を活用しましょう。



パソコンに 表示された警告

詐欺かもしれない

「パソコンがウイルスに感染した。」と、偽物の警告を表示させ、偽物のサポート窓口へ誘導してお金を騙し取る詐欺が増えています。警告は全て疑って、画面に表示されている番号ではなく、家族や知人などに相談してください。



スマホに かかってくる電話

詐欺かもしれない

携帯会社や通信事業者などになりすまし、「サイトやアプリの未納料金がある。」と、自動音声の電話をかけて、お金を騙し取る詐欺があります。知らない番号の電話は、出ないようにしましょう。



スマホに 届くメッセージ

詐欺かもしれない

「1億円が当選しました。」と、ショートメッセージを送り、当選金を受け取る手数料という口実でお金を騙し取る詐欺もあります。身に覚えのないメッセージは、すぐに削除してください。



詐欺師の罠にハマった後では遅いから、疑う習慣をつけて被害を防ぎましょう。